

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日		公表日	
児童発達支援・放課後等デイサービス LUMO音楽学校		2025年2月20日		2025年2月20日	
項目	チェック項目	評価		実施している点	課題や改善すべき点
		はい	いいえ		
環境・施設整備	1 利用者が発達支援室等のスペースとの区別が適切であるか。	○		最新の設備を採り置き、備に全て内行けることで発達支援スペースを最大限に使えるようになっている。	高換気が無い、換気扇は回っている。
	2 利用児童やこどもの状態等に対して、職員配置数は適切であるか。	○		適切である。	適宜対応していく。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に即し、バリアフリー化や音響伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		備前が豊富なので、必ず職員がついていく。	紙本屋や集音機などを各グループなどで組み合わせて使い分けている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		清潔、空気の入れ替えと両立して行っている。	道具を清潔に保つための（殺菌シート）が多いため少しずつボックスなどに買い換えている。
業務改善	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個室が強いためカーテンダウンがない、そのための必要に応じて個室やトイレも用意して対応している。	適宜対応している。
	6 発達支援を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		朝礼や支援協議などで発達支援の課題を確認しそれぞれに応じた目標設定を行っている。	継続して取り組んでいる。
	7 保護者向け研修会により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者からいただいたご意見を夏によるお父さんで相談、支援の取組の進捗を再度見直している。	継続して取り組んでいる。
	8 職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		朝礼を30分設けており、その中で申し送り事項や支援内容の意見のやり取りをおこなっている。	継続して取り組んでいる。
適切な支援の提供	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	該当なし	検討していく。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内での研修を開催する機会が確保されているか。	○		音源オンラインの研修や実践研修を行っている。またマットの機能については全員が熟知できるように動画を活用している。	常にアップデートしていく。
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		なされている。	継続して行う。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を把握し分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		体験時に書いていただいたアセスメント、お子様の様子をもとに支援内容を打ち、一人一人合った計画を作成している。	継続して取り組んでいる。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の上で、こどもの療育のニーズを考慮した検討が行われているか。	○		職員会議と支援協議を行い、お子様の特性に寄り添った計画を作成している。	継続して取り組んでいる。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		朝礼や支援協議などで個別の課題を確認しそれぞれに応じた目標設定を行っている。	継続して取り組んでいる。
	15 こどもの活動の記録の取捨選択、観察筆記にシートを用いたフォーマットなアセスメントや、日々の行動観察などを用いたフォーマットなアセスメントを使用するなど確認しているか。	○		体験時に書いていただいたアセスメントを確認している。	継続して取り組んでいる。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容が盛り込まれ、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が記述されているか。	○		過去以上に個別支援計画を作成している。	より深い内容になるよう、日々取り組んでいる。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		朝礼で行っている。	継続して取り組んでいる。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		お子さま一人一人の課題に合わせた支援を行っている。継続的に新しい内容を取り入れることにより活動の新鮮さを保つている。	継続して取り組んでいる。
関係者等との連携	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、実践が行われているか。	○		場面ごとに考え、工夫している。	話し合いを重ね、今後も行っていく。
	20 支援開始前には保護者などで行き合わせを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して実践を行っているか。	○		連絡帳も利用しその日の支援内容を確認している。	内容も思いのみにしていく。
	21 支援終了後は、職員間で必ず話し合いを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	○		共有事項は全て行うように取り組んでいる。	支援終了後は話し合いもあつち、振り返りをするところも新しいやり方の目的も話し合っている。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		掲げている。	継続して行う。
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の改善の必要性を判断し、適切な対応を行っているか。	○		半年ごとにモニタリング、直前を行っている。	継続して行う。
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて実践を行っているか。	○		事業所全体で話し合い、実践を行っている。	継続して行っていく。
	25 こどもが自己選択できるよう支援の工夫がされているか。自己決定するの力を育てるための実践を行っているか。	○		運動や遊びだけでなく、「何、か」「何を、か」の選択や「どの、か」の選択も尊重している。また、こどもが自分で決断することが出来るように、お子様の意思を尊重している。	継続して取り組んでいる。
	26 関係者（児童発達支援事業所のサービス担当者会議や関係機関）との会議し、そのこどもの状況をよく理解した上で実施しているか。	○		会議には児童発達支援とお子様のことをよく理解している関係者で実施している。	適切に対応していく。
	27 地域の学校、医師（主治医や協力機関関係）、障害児福祉、教育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		連携している。	もっとたくさん行くようアクションしていく。
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定の交換、こどもの下校時刻の確認）、連絡調整（遠征時の対応、トラブル発生時の連携）を適切に行っているか。	○		連絡調整は定期的に学校と連携している。	情報の共有も共有していくようにする。
	29 放課後に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有し相互理解を深めているか。	○		可能な限り、話し合いを共有している。	今後も行っていく。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから発達支援サービス事業所へ移行する場合、それまでの活動内容等の情報を提供しているか。	○		該当がない。	適宜対応する。
保護者等への説明等	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイザーや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		該当なし	今後検討していく。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他とのこどもと活動する機会があるか。	○		該当なし	今後検討していく。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		該当なし	今後検討していく。
	34 現場からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を深めているか。	○		運動中なるべく活動量や行動のペースに詳しくお伝えしている。出来たことや頑張っていること等の褒め言葉をお伝えしている。また、保護者からいただいたお悩みも指導の中で共有し話し合い対応が出来るようにしている。	継続して行っていく。
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修や講座や情報提供を行っているか。	○		家でできることお伝えしている。	保護者様からご希望があるため、来社と相談し実施していく。
	36 課業報酬、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に児童発達支援について説明している。	継続して行っていく。
	37 放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意向の意思、こどもの療育の優先度の観点から進め、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		個別支援計画を策定する際に、保護者様とのニーズや意向を共有し、お子様の意向を尊重して進めたいことお伝えしている。	継続して行っていく。
38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		同意を得ている。	継続して行っていく。	
事業所等への説明等	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、個別や必要な助言や支援を行っているか。	○		半年ごとに関節をしその悩みに寄り添ったお話を聞いている。	継続して行っていく。
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会を創設するなどにより、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		該当なし	今後検討する。
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に満足し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		迅速に対応している。	継続して対応していく。
	42 定期的に連絡等を行うことにより、HPやSNSを活用して連絡することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		定期的にブログを更新している。	どんどん発信していく。
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		動画や写真も保護者様に送る際に、お父さんお母さんにお知らせしている。	確認して行っていく。
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		配慮している。	継続して取り組んでいる。
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		該当なし	今後検討する。
	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを作成しいつでも確認できるように保管している。	確認して行う。
事業所等への説明等	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、撤出その他の必要な訓練を行っているか。	○		毎年3月と9月に避難訓練を行っている。	確認して行う。
	48 事前に、保護や予防設備、てんかん発作等のこどもの状況を把握しているか。	○		内服薬を把握し、発作が起きた時の対応や保護者様にお知らせしている。	確認して行う。
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		該当なし	おやつがない。
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分な中で実践が行われているか。	○		研修、実施を行っている。	継続して行う。
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		周知している。	確認して行う。
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	○		虐待マニュアルを作成している。	確認して行う。
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待マニュアルを作成している。	確認して行う。
	54 こどもの安全確保にやむを得ず停業実施を行うことについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		契約時に事前に書いてお渡しし説明した上でサインしていただいている。	確認して行う。